

きらめき朝日

令和4年9月9日号

校長 原田 正明

令和4年度体育祭

「超 ～挑め限界 仲間と共に～」

新型コロナの関係で延期となった今年度の体育祭が「超 ～挑め限界 仲間と共に～」のスローガンの下、9月6日(火)に開催することができました。当日は、台風の心配もありましたが、天候に恵まれ、暑い中での体育祭となりました。

コロナ禍での3回目の体育祭ということで、これまで同様にマスク着用や手指消毒の徹底など感染対策を行っての活動になりました。3年生を中心に夏休みから準備に取り掛かり、夏休み明けから全校生で本格的に準備・練習に入ろうとした矢先に、体育祭が延期となったために、約1週間遅れでようやく全校生での体育祭練習が始まりました。急な日程変更で、実行委員会や応援団幹部の皆さんの準備も大変になりましたが、気持ちを切らすことなく体育祭前日までしっかりと準備してくれました。特に応援練習では、応援団幹部を中心に、応援合戦の振り付けを丁寧に教え、必死になって覚えようとする1・2年生の姿がありました。最初は上手く踊れず、バラバラだったものが、本番に近づくにつれて、息が合って動作が揃ってくる様子は本当に成長を感じました。

体育祭当日も、応援団幹部を中心に自軍の勝利を目指して必死に競技し、応援する姿、そして、競技終了後に両軍が互いに頑張りを讃え合う姿は青春そのものでした。一人ひとりが成長を実感することができた体育祭になりました。

体育祭当日も、応援団幹部を中心に自軍の勝利を目指して必死に競技し、応援する姿、そして、競技終了後に両軍が互いに頑張りを讃え合う姿は青春そのものでした。一人ひとりが成長を実感することができた体育祭になりました。



開祭式(選手宣誓)



1学年種目



2学年種目



3学年種目



長縄跳び



選抜リレー



応援合戦決めポーズ



体育祭の結果

【競技の部】

優 勝：紅 軍

準優勝：白 軍

【応援の部】

優 勝：白 軍

審査の結果、競技の部は、前半からリードした紅軍がそのまま逃げ切り、見事優勝しました。応援の部は4分間の応援合戦を中心に審査した結果、白軍が僅差で優勝しました。

延期で平日開催となった体育祭にもかかわらず、多くの保護者の皆様から来場いただきました。直接、子どもたちの必死に頑張る姿を参観していただくことができ、とてもよかったですと思います。本当にありがとうございました。

吹奏楽部ミニコンサート

9月4日（日）に、創遊館ホールを会場に、朝日中吹奏楽部のミニコンサートが開催されました。今年は、保護者や職員に加え、生徒の皆さん、吹奏楽部の先輩なども入場して行うことができました。自分たちで作成したパンフレットや部員による進行など手作り感のあるあったかいコンサートでした。

毎年秋に行っているこのミニコンサートは1～3年生と一緒に演奏する最後の舞台ですので、5人の3年生にとっても思い出に残る最後のステージとなったと思います。



部活動強化期間

今週から地区新人総体に向けての部活動強化期間になります。活動時間は15分間延長で、通常は休養日にしている木曜日でも活動することができます。大会本番まで短い期間ですが、頑張ってもらいたいと思います。

今回の地区新人総体には、野球部の部員数が足りないために、陵南中と合同チームを組んで出場します。そのため、週末は陵南中に出向いて合同で練習をしたり、練習試合を行ったりしています。また、柔道男子も団体を組めず、個人戦のみの出場となります。人数が少ない部がほとんどですが、1・2年生全員で協力して大会に挑んでほしいと思います。

最後に、まだまだコロナ禍が続くと思いますので、大会にみんなが出場するためにも感染対策をしっかりと行っていきましょう。